



鹿追町教育委員会  
委員長 白井 あや子

町民の皆さまに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日ごろより、本町の教育行政が、町民の皆さま、関係機関ならびに理事者から深いご理解とご支援をいただき、円滑に推進されておりますことに、心からお礼を申し上げます。

さて、今日学校教育におきましては、平成24年4月より、中学校で新学習指導要領の趣旨を生かした教育課程が完全実施され「豊かな心」「健やかな体」とともに、特に、「確かな学力」を育むことが、喫緊の課題となっております。

この「学力」につきましては、道教委が平成26年度の全国学力・学習状況調査までに全国平均以上にすると目標を掲げており、2年後を見据えた計画的で実践的な取り組みが求められております。

本町におきましては、このような状況を見据え小中高一貫教育の推進を活かし、実践を重ねております。

さらに、本町教育の特徴であるジオパーク構想も踏まえた環境教育「新地球学」と数学教育「実社会数学」、そして、英語教育「カナダ学」につきましても、引き続き文部科学省の研究開発学校の指定校として研究中であります。

終わりになりましたが、今後も、家庭教育、学校教育、そして社会教育が一体となり、町ぐるみで子どもを育むべく、生涯学習の推進に尽力してまいりますので、皆さま方の一層のご支援をお願い申し上げます。



鹿追町農業委員会  
会長 松浦 優

町民の皆さま、輝かしい平成25年の新年を迎え心からお喜び申し上げます。

農地行政を預かっております農業委員会活動に対しまして、町民皆さま、農業関係者の深いご理解とご指導を賜っておりますこと、心より厚くお礼申し上げます。

平成22年度より美蔓地区で交換分合事業を実施してまいりましたが、地区内農業者、町、関係機関のご協力とご指導により終了することができましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

農業情勢については依然として厳しいものがあり、平成22年11月に当時の野田佳彦内閣総理大臣が、環太平洋連携協定(TPP)交渉参加に向けて協議に入ると表明しました。しかしその後は何の情報も無いまま問題を先送りしており、今後も予断を許さない状況にあります。農畜産物の関税撤廃は農業に壊滅的影響を与えるばかりでなく、農業を中心とした地域経済社会に大きな影響を与えることが予想され、強い不安を抱いているところであります。

農地が地域、国民に限られた貴重な資源として、安全、安心な農畜産物を生産し消費者に届ける責務があります。農業の生産基盤であります農地の有効利用を図るため、農地行政を関係機関と連携をとりながら進めてまいります。

今後とも、農業委員会に対して一層のご指導ご協力を賜りますようお願いいたします。町民皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



陸上自衛隊鹿追駐屯地  
司令 中村 智志

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて昨年、私が着任して約半年が経過しました。十勝のさわやかな気候と青空の下、四季折々の変化のある毎日を経験させていただいています。

私が転入してからこの十勝地方で一度やや大きな地震(震度4)がありました。平成23年に見られたような大雨降雨による河川氾濫被害などの目立った自然災害はありませんでした。

一方で、我が国を取り巻く安全保障環境は大きく変化しました。日本周辺の各国では指導者が交代し、平成24年1月に台湾の新総統に馬英九(マイイチウ)が再任したのを皮切りに、北朝鮮では4月に金正恩(ジンジョン)が最高指導者の第一書記に就任、5月にはロシアで3度目の就任となるプーチン大統領が、米国では11月にオバマ大統領が再選し、同じく11月に中国では習近平(シ Jinping)総書記が誕生しました。このように平成25年、今年の世界情勢は指導者が交代したことにより大きく変化します。

変化する国際情勢と日本外交、そして国内情勢も大きく変化することが予想されます。自衛隊は、これら変化要因に目を向けその動向を注視し、自己の本分を守っていくことが重要であると考えます。

町民の皆さまにはご理解、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



鹿追町農業協同組合  
代表理事組合長 佐藤 雅仁

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。健勝で平成25年の新春をお迎えのこと心よりお喜び申し上げます。

昨年中、JA鹿追町事業全般にわたりお寄せいただいたご支援、ご協力に対し感謝とお礼を申し上げます。我が国の経済は、震災後の復旧・復興による内需拡大により景気回復の下支えがあるものの、欧州諸国の債務危機をはじめとした世界景気の悪化が国内景気にも影響を及ぼすこととなり、個人消費は横ばいが続き、雇用においては改善の動きが見られるものの依然として厳しい状況となっております。

農業を取り巻く情勢は、環太平洋連携協定(TPP)交渉への参加を表明して以降、政府間の事前交渉が進むにつれ食料安全保障に対する不安が一層高まる中、米国の大干ばつや欧州の乾燥・凍害など異常気象で穀物生産量が減少し、主要穀物は史上最高値を更新し、海外・国内両面から資源の供給制約問題に直面しております。「農は国の基本」自給力の拡大が喫緊の課題となっております。

さて本町農業生産を振り返ると、春は融雪が遅れ、大雨被害がありました。夏にかけて気候は安定しました。秋に入り記録的な残暑となり、後半は降雨が多く悪天候が続きました。主要畑作物ではいんげん豆の色流れ・てん菜が低糖分となりました。酪農では前年より2年連続で生乳生産は減産しましたが、後期は良質粗飼料確保や増産対策事業などにより回復基調に転じました。肉牛については販売頭数が減少しましたが枝肉価格が前年を上回り、24年度農業産出粗生産額は史上最高が見込まれます。

新しい年を迎え、新政権による農業政策を注視し、世界の食料生産が不安定化する中で、食料安全保障の重要性を強く認識し、今日まで築いた本町農業生産基盤を更に充実・強化を計り、第9次農業振興計画2年度目の重要課題に積極対処し「畑」「酪」「畜」3拍子揃った生産目標達成にまい進いたします。組合員各位の努力と町内外関係諸機関のご指導をよろしくお願いいたします。

希望にあふれる年頭にあたり、鹿追町・町民皆さまにとりまして平穏で最良の年となりますよう心よりご祈念し、年頭のご挨拶といたします。



鹿追町選挙管理委員会  
委員長 鈴木 善一

町民の皆さま、新春おめでとうございます。お健やかに、平成25年の新春をお迎えのこと心よりお喜び申し上げます。

また、平素、当選挙管理委員会の業務執行につきましては、親身なるご協力とご助言をたまわり、心より感謝を申し上げます。今年も当選挙管理委員会委員と事務局職員一同、業務の執行には、公明正大を念頭に誠心誠意努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

さて、昨年は災害復興、外交問題、増税と社会保障などの難問山積の中、政権党と野党の党利党略の政争の明け暮れで、国民の声を聴く解散総選挙は、先送りかと思つた矢先、11月の出し抜け解散の結果、12月4日公示、同16日投票日と気ぜわしい盛り、まさかの師走総選挙ならびに最高裁判官の国民審査となりました。いづれにしましても、国民の信頼を裏切らない選良政治家による、国民によくわかる政治を行う政権の誕生を期待したいものです。

更に今年は、「良識の府」と言われる参議院議員の選挙があります。皆さまの清き一票を棄権せずに行使していただき、ふさわしい代表を選びましょう。昨今は、一票の格差問題がテレビ、新聞などをにぎわせていますが、その反面、投票率の低下傾向が続き、選挙制度にとりましては憂うべき問題点となっております。ですから今一度、一人一人の投票権の確実な行使で、より良い政治実現の原点といたしましょう。

末筆となりましたが、我が鹿追町の限りないご発展と、町民皆さまにとりまして幸多く、実り豊かな年でありますことを祈念いたしまして、初春のご挨拶といたします。



鹿追町商工会  
会長 三井 福成

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた平成25年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

昨年中、鹿追町商工業者にお寄せいただきましたご支援、ご愛顧に対しまして心から感謝を申し上げます。本年も引き続きましてのご利用、ご支援をよろしくお願い申し上げます。長く続くデフレの中で、景気は相変わらず低迷し、高い失業率の中で、新規卒業者の雇用も回復の兆しは見えず、公共事業費の削減、民間給料も減額傾向にあり、年収200万円以下の人達が増え、消費者の買い控えによる売上減少により経営内容の悪化など非常に厳しい環境におかれています。また、環太平洋連携協定(TPP)の参加により、主たる産業が農業の鹿追町にもかなりの悪影響があると思われる。

昨年は、鹿追町のご支援により、割増率25%のプレミアム商品券を販売し、生活応援大売り出しには、当初予算より予算額も増え参加事業者の売上も伸び、町民の皆さまに少しでも多く還元することができたのではないかと思います。

本年も「子育て応援事業」「ナイトウォーク」「アイスクヤンドルフエステイバル」「鹿追」の事業を継続し、生活応援大売り出しも実施をし、内容についても検討をして町民の皆さまに喜ばれる事業にしていきたいと思っております。また、町内で行われます各種イベント事業へも積極的に参加し、協力いたします。

道央圏から鹿追町への時間も短縮され町を訪れる人達も増えていきます。近隣7町が参加する「十勝シーニックバイクエイト十勝平野山麓ルート」も新しい「ルートマップ」ができ、「パークゴルフ場マップ」と合わせて高速道路、道の駅、JR駅などで配布、また、今年から空港のレンタカー会社でも配布していただくことになりました。ドライブ観光が増える中、広域での取り組みが必要になると思っております。

明るい話題が少ない一年になりそうですが、町内商工業者は厳しいながらも努力をし、少しでも町民の皆さまのニーズに応え、愛される商工業者を目指して頑張っております。本年も引き続き関係機関のご支援、ご指導をよろしくお願申し上げます。